

主催：日本ソルフェージュ研究協議会

第16回 講演会 不均等の魅力

「不均等の魅力」。とても魅力的なタイトルです。

バロック期に象徴される様々な不均等な表現ですが、翻ってみると、全ての芸術の魅力は不均等に集約されるのではないのでしょうか。生命活動はエントロピーゼロとエントロピー最大の間を動いています。秩序と無秩序の間の様々な在り方があるからこそ芸術は面白く、魅力的です。バロック期はそうした不均等を表に出した時代ですが、古典派、ロマン派、近現代にも継がる、芸術表現の大本とも言える表現手段を、珍しい楽器や演奏を通じて学べる講座として、是非、多くの方々にご参加頂きたいと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日本ソルフェージュ研究協議会会長 渡辺 健二

日時：2024年5月25日(土) 14:30 開演(総会終了後開場)

会場：東京藝術大学音楽学部 5-109 大講義室

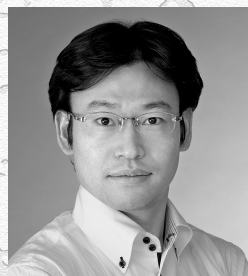
対象：①対面

②オンライン(アーカイブ)…会員限定

Web配信期間 2024年6月24日(月) 20:00～7月22日(月) 10:00

講師：大塚 直哉(チェンバロ) 菅 きよみ(フラウト・トラヴェルソ)

音程の幅が異なるでこぼことした半音階の生まれる「中全音律」、均等に記譜されているのに不均等に弾く「イネガル奏法」など、古楽の世界では「均一さ」とは違った価値観が大切にされています。当日は、ミ♭とレ♯の鍵盤が異なる特殊なチェンバロを体験していただいたり、指使いによって音色の明暗の特徴を持つフラウト・トラヴェルソ(バロック・フルート)の音色を楽しんでいただきながら、調律法、リズム感、奏法、音色など、バロック期の音楽で大事にされている「不均等の魅力」についてご紹介したいと思います。



大塚 直哉 OTSUKA Naoya

東京藝術大学楽理科を経て、同大学院チェンバロ専攻を修了。また、アムステルダム音楽院のチェンバロ科およびオルガン科を卒業。チェンバロを渡邊順生、鈴木雅明、B.v. アスペレン、オルガンを今井奈緒子、早島万紀子、P.v. ダイク、W.v. デイツペンホルスト、J.v. オールトメルセンの各氏に師事。チェンバロ、オルガン、クラヴィコードなどの奏者として活発な活動を行うほか、これらの楽器に初めて触れる人のためのワークショップを埼玉、姫路、宮崎、いわきなど各地で行っている。東京藝術大学教授、国立音楽大学講師、東京音楽大学特任教授、NHK FM「古楽の楽しみ」の案内役、日本チェンバロ協会会長。



菅 きよみ SUGA Kiyomi

10歳よりリコーダーとフルートを故若林正史氏に師事。16歳でフラウト・トラヴェルソに転向し、有田正広、バルトルド・クイケン、マルク・アントイ等の各氏に師事。桐朋学園大学とブリュッセル王立音楽院を卒業。1999年ブルージュ国際古楽コンクールにて3位入賞。アニマ・エテルナ、ラ・プティット・バンドやその他のバロック・アンサンブルのメンバーとして欧州各地で演奏。2007年に帰国し、現在バッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカ、ルネサンスフルート・コンソート「ソフィオ・アルモニコ」のメンバーとして演奏会やCDの録音を行う。ミュージック・スクール「ダ・カーポ」講師。

入場料：無料

(会員以外の方は、当日以下の諸経費負担をお願いいたします)
一般 3,000 円、学生 1,000 円

問合せ先：日本ソルフェージュ研究協議会事務局

Tel. 090-5566-8567 (留守番電話)

E-mail : ni.sol.ken@gmail.com

<http://www.ni-sol-ken.com/index.html>

会員ログイン用 QR コード



オンライン視聴は以下の会員ログインの URL
もしくは左の QR コードからお入りください。

<http://www.ni-sol-ken.com/member/auth.php>

Homepage



Facebook



東京藝術大学
上野キャンパス
音楽学部

